

会 議 録 (発言要旨)				
会 議 名	第2次三豊市総合計画審議会 (第4回)			
日 時	平成30年6月8日 (金) 13時30分～15時45分			
会 場	三豊市危機管理センター201会議室			
出席委員	原 真志 委員長	正田茂義 副委員長	則久 郁代 委員	平井 俊広 委員
	増田 博志 委員	横山昌太郎 委員	田井 清 委員	今川宗一郎 委員
	中村 和良 委員	砂取 とき 委員	橋本 純子 委員	黒田日出子 委員
欠席委員	矢野 康江 委員	新延 修 委員	眞鍋有紀子 委員	
事務局	綾 章臣 政策部長	石原一也 田園都市推進課長	小野晃照 主任	森 郁美 主任主事
傍聴者	なし			
議 題	(1)基本構想(素案)について、(2)基本計画(骨子案)について			
議事の経過 および 発言の要旨	事務局	(審議会委員の出欠状況について報告、会議の公開について説明)		
	原委員長	(あいさつ)		
	正田副委員長	(あいさつ)		
	原委員長	<p>それでは、議事に進みます前に、ただいま事務局から報告がありました会議の公開について確認をしたいと思います。</p> <p>先ほどの公開方法についてご異議のある方はいらっしゃいませんか。</p> <p>無いようですので、早速議事に進みます。</p> <p>議事1、「基本構想(素案)」について、事務局より説明をお願いします。</p>		
	事務局	「基本構想(骨子案)」について内容・趣旨等を説明		
	原委員長	ただいま、事務局より説明のあった内容について、委員の皆さまでご意見、ご審議をお願いいたします。		
	増田委員	前回からずいぶん改善されて見やすくなったと思います。最後のまちづくりのゾーニングというのは言葉のところだけ変わるということで、マップはそのまま残るということでしょう		

	事務局	か。
	事務局	イメージ図はそのまま残します。
	原委員長	他に如何でしょうか。 4 ページのところの構成の部分ですが、前回の会議でも少し議論があったかと思うのですが、基本構想、基本計画、実施計画からなるこの総合計画というものが、どういう構成になっているかわかりにくいという意見があったかと思えます。この冊子では最初の2つを扱うわけですよ。それで、3つ目は単年度ごとにここには含まれていないこととか、基本的なことを読む人にわかりやすくここで説明するのが良いのではないかなという気がします、その点は如何でしょうか。
	事務局	ご指摘の通り、このままだと実施計画がどこかに出てくるのではないかと誤解を招く可能性がありますので、この冊子の中では、基本構想と基本計画を扱いますということを明示して、誤解を招かないようにしたいと思います。
	原委員長	ありがとうございます。ほかに如何でしょうか。
	横山委員	前回の計画の振り返り、評価っていうところはどうなりましたか。
	事務局	前回委員より指摘頂いたところで、どういうまちづくりをしてきたかの検証がないということで、10 ページのところ、これまでのまちづくりということで、客観的な資料にはなるのですが、事業名をあげさせていただいて、それによって市民の皆様がどのように感じたのかという検証の部分は、アンケートと市民会議の結果ということでお示しさせていただきました。過去の審議会の中で内部評価を説明いたしましたが、あくまでも第三者の評価でないということもあり、この計画内でお示しすべきかということも正直あります。行政として進めてきたまちづくりの振り返りについては現在も検討しているところです。

	横山委員	<p>実際、市民のために 10 ページからに書かれていることを実施して、その結果が市民アンケートなのかなとは思ったが、これだとファクト（事実）だけなので、評価的なもの、計画していたけれども、達成できたのか、できなかったのかという意味の評価があるといいなと思います。</p>
	事務局	<p>そういう意味で申し上げますと、今の総合計画では、将来像を「豊かさ」をみんなで育む市民力都市三豊」と、人口 65,000 人を目指してまいりましたので、評価という意味では、市民力都市ということに関しては、地域内分権という言葉を進めてきた、市民の力、地域の方々が自らの責任と行動で地域の課題を解決していくことについては、これだけ活発な市民活動が行われるようになり全国的にも認められてきたということは十分評価できると思います。一方で人口目標の 65,000 人については、現在 63,500 人ということで、達成とはならなかったという評価になるかと思えます。自己評価ということであれば、目指してきた市民力都市ということについては一定の評価ができると思います。</p>
	横山委員	<p>言葉が足りませんでした。自己評価でも良いと思います。こうやってきてこうだったという総括的な部分がいっていると、それを踏まえて今回新しいものが出来たのだということもわかると思います。</p>
	原委員長	<p>前に審議会でも、前回のものがどういうふうに、これに繋がるのか、もう少し繋がりが見えてほしいという意見を頂戴していて、そこをどうするかということが大きなポイントとしてあったと思います。その答えとして、今回、10 ページのところは、旧の総合計画の目標が書いているので、今回そのことが、どう変わるのか、全体として構成が変わったという説明が必要であろうと思いますし、この 10 ページに関しては、旧総合計画の目標であって、今回のものではないということ、誤解しやすいので、ここは以前のものだよというわかりやすい表記にした方がいいと思います。その上で、前回の基本目標と今回の基本目標と、基本方針への対応関係については、19 ページの基本目標を説明した後に、前回とどう変わっているかをまとめて説</p>

		<p>明を入れた方が理解できるかなど。なぜそんなふうに変えるのかについても簡単にここで、例えば、ここは重要だから継続、重要だから強化するといった説明も可能かも知れない。より具体的なものについては基本計画で述べられていくので、そのあと、過去の総合計画の達成がどの程度出来たのか、継続できているか、あるいは不十分なので強化しなければならないといった点について、そういう論述が可能になるので、基本計画の説明の後に、そういった達成度合いや、重要度の説明をするのか良いのではないかと考えてはいるのですが、その点についてどうですか。</p> <p>今回基本計画の具体的内容が出ていないけれども、そちらで委員の質問や意見は達成されてくるのかなという気もしていますが。事務局どうでしょうか。</p> <p>後ほど説明いたしますが、基本計画の中で各目標に対してどういった課題があるか、現状かというのは明らかにしてまいります。横山委員ご発言の通り、現状の把握、これまでまちづくりをどうしてきた、その結果としてどうなったというところは基本計画内で併せて説明する予定です。ただ、基本構想のところでも、会長ご発言の設置変更については、説明が必要だと思っています。現在、基本方針、基本目標を設定しており、その前が良いのか、後ろが良いのかはありますが、前回との違いや工夫点、変更点については必要だと考えています。</p> <p>はい、そのような中で、解消できればと思います。ほかに如何でしょうか。</p> <p>基本構想の部分は全体をざっくりと伝えて、大きなところを理解していただくパートで、具体的なものは基本計画の中で、初めて詳細が明らかになるということなので、その前の段階で、ぎゅっと圧縮したものを出して、このような形で良いかどうかという論点になるかと思いますが、その他如何でしょうか、追加資料も含めて何かご質問やご意見は。</p> <p>特に、市長の意向で「ONE MITOYO」というところで、「ONE」という強調される表現が出されておりますが。</p> <p>「ONE MITOYO」の意味の説明で、先ほど口頭で説明がありま</p>
事務局		
原委員長		
増田委員		

		<p>したが、その文面はこの中にはありますか。</p>
	事務局	<p>追加でお配りしたものが、17 ページの説明文の差し替え文です。</p>
	増田委員	<p>「ONE MITOYO」とはこうですよという説明が、先ほどあったがそれはないのでしょうか。</p>
	中村委員	<p>増田委員が言っているのは、口頭でいった「コンパクトシティではなくて、市民と行政が一体となる」という説明のことを言っているのでは。</p>
	増田委員	<p>そうです。</p>
	中村委員	<p>その説明が入ったほうがわかりやすいのではないかとということではないですか。</p>
	原委員長	<p>今回の説明は、文章を置き換えますということでしたが、これではまだ、いろんな意味でとらえられるので、少し説明を加えたほうがいいのかということですね。</p>
	中村委員	<p>文面より、事務局が先ほど説明した言い方のほうがわかりやすい。</p>
	増田委員	<p>そう、すごくわかりやすかった。</p>
	原委員長	<p>追加資料の文章の中でいうと、第3パラグラフの中が「ONE」を減名した文章にはなっているのですが、まだわかりにくいのでもう少し説明を加えてより明確にということですね。</p>
	中村委員	<p>私も、メモで「ONE」とはチーム三豊として、市民と行政が一体となってという意味で、コンパクトシティではない。と書いた。これがわかりやすいなと思いました。</p>
	原委員長	<p>この点、事務局どうですか。</p>

	事務局	<p>端的に述べた方が良いと思い、今回文章を変更しましたが、補足を加えた方がより分かりやすいとのことですので、コンパクトシティではない、チームとして取り組むといった文面を追加したいと思います。</p>
	原委員長	<p>では、議論をしたことを反映したものにさせていただければと思います。</p>
	橋本委員	<p>2点ありますが、人口目標のところ、これまで65,000人が届かず、今回63,500人ということなので、前回の目標に到達できなかったのも、再度改めて設定というものがあつた方が市民の方にはわかりやすいと思います。</p> <p>次に、レイアウト的なものですが、4ページの2番の計画の構成と役割のところ、図と説明文書が別ページになっています。本当は一緒に表示したほうがより深く理解できると思いますので、ページ的な問題もあると思いますが、せつかく図を用いているのですからまとめて表示したほうが良いと思います。</p>
	原委員長	<p>1ページに収まるようなレイアウトにということですね。対応可能ですか。</p>
	事務局	<p>現段階では、文章と図をはめ込みしているだけですので、校正の段階では、パラグラフごとにわかりやすく表示したいと思います。委員発言のとおり、図ありきで説明した方が見る人もイメージをつかみやすいと思いますので、図と文字が一体となったようなものでわかりやすくできるよう検討して参ります。</p>
	原委員長	<p>基本構想、基本計画、実施計画は先ほど申し上げたように分かりにくいので、パッと見て3つあつてすぐわかるようになっているのが望ましいですね。うまくレイアウトを工夫されたら良いと思います。</p>
	橋本委員	<p>私もそうですが、文章だけ見ているとつらくなるので。視覚、図というのは大事だと思います。</p>
	原委員長	<p>他に如何でしょうか。</p>

	<p>中村委員</p> <p>原委員長</p> <p>事務局</p> <p>原委員長</p> <p>横山委員</p>	<p>贅沢な意見ですが、基本目標4つありますが、どこも考えるような言葉なので、これぞ三豊市といった表現ができないかなと思います。それがもしかしたらまちづくりマップなのかもしれないですが。オリジナリティある全国に発信できるものがないかなと感じています。</p> <p>事務局如何でしょうか。</p> <p>まちづくりというところでは、総花的になるといいですか、全ての分野を網羅する必要がありますので、全体としてここがというのはお示ししづらい部分です。ですが、基本計画の中では「重点プロジェクト」を打ち出す予定にしておりますので、ここで三豊市として力を入れていくところ、三豊市の特色をだして行きたいと考えています。</p> <p>たしかに、中村委員ご発言のように、金太郎飴的な印象を与えるよりも、三豊らしい計画が作られていますねという印象を持っていただいた方が、市民も興味を持ってもらえるという気はしますが、一方で行政的には全てに目配りをしないとイケないということもあり、ここにあげている内容は押さえないとイケない内容だとすると、どこに三豊らしさを入れることができるかということですね。将来像の「ONE MITOYO」は三豊らしいのかもしれませんが。基本方針というのは今回、目標とは別に設定しましたよね。これは複数以上のものに共通して関係するものだと言っていました、このレベルにおいてなにか工夫できないのかなと思いましたが。</p> <p>これからの10年で、推計でいくと8ページの資料を見ても7千人近く減るという中で、これを維持するという事は、逆に言えば今より7千人来てもらわなければならないということですね。この7千人来てもらう魅力っていうのを打ち出せないこの目標は難しいではないかという気がしています。</p> <p>行政的には総花的になるっていうことは、十分理解できます。一方で、「記憶に残る幕の内弁当はない」というくらいで、ひとつこれはっていう所があって、そこを打ち出すことで、</p>
--	--	--

		<p>じゃあ三豊市に住みたいなというのがあるといいなど。具体的な案があるわけではなくて申し訳ないですが、そういうふうに感じました。</p>
	則久委員	<p>基本方針1で「市民が主役のまちづくり」と打ち出している以上、まちづくりの優先度というところ、アンケートでもありましたが、満足度が低くても重要度が高いような施策をどんどん採用していますっていうようなアピールがもう少しの中にみられると、市民主体に頑張ってくれていると伝わってくる気がします。市民の声を活かしてますというのが見えてくるとこれを掲げているのがみえてくるのかなって思います。</p>
	中村委員	<p>私は「ONE MITOYO」っていうと、オンリーワンのほうをすごく思います。</p>
	則久委員	<p>「ONE」のスペル、O・N・Eにもっと意味があるとかになると、偏見がなくなるかもしれないですね。</p>
	原委員長	<p>「ONE」にいくつかの意味が重なっていて、オンリーワンの「ONE」と、旧町を束ねる「ONE」など、いくつかの意味が込められている所に特色を出していく。</p>
	則久委員	<p>前回欠席していたので、今回みて違和感があったのですが、説明を聞いて納得というところもあったので、何か説明を加えないと違和感があるようなネーミングかなというのを感じました。</p>
	原委員長	<p>O・N・E、ナチュラル、エコ、そういう意味が重なって、洒落で下がっているんだというところで、三豊らしさを工夫出来たらいいですね。エコツアーみたいなものも実施されているし。</p>
	平井委員	<p>前回いろいろ発言させていただいて、市外の日線色々申し上げたが、私は「ONE MITOYO」というよりも、「ALL MITOYO」というほうがしっくりくる。旧7町が独立していて、その文化というのはまだまだ伸びしろがあって、その特徴は伸ばして</p>

		<p>いけると思うんですよ。平成の大合併で誕生したまち、高瀬駅を中心に考えたらよいのではないかと、また、「ALL MITOYO」で発信していったらどうかと思ったんですけど。前回、事務局から問いかけがあったが、三豊の顔の駅として、高瀬駅は私とあと一人くらいで、詫間駅が圧倒的に多かった。</p> <p>僕は「ONE MITOYO」というのは市長さんがおっしゃられているし、7つのカテゴリーのものは非常に良いものを持っている。それをもっともっと伸ばしながら「ALL MITOYO」の一つを作りたい。中村委員とは少し違う「ONE」を感じている。</p>
	中村委員	僕は、三豊をひとつにするというのは無理だと思っている。
	平井委員	私も帰りながら、一つにするのは無理だなと思った。でも、例えば「ONE」の意味として ALL というのもありかなと思いました。
	中村委員	「ONE FOR ALL」、「ALL FOR ONE」という言葉もラグビーで使われていたりする、ああいう意味合いでないかなと最初思ったんですけど。そういう意味の ONE ではないかと思った。
	平井委員	いろいろ受け取り方はある。
	中村委員	市民と行政が一体となって。チームを組む。というふうに思ったんですが、私は「オンリーワン」の方にこだわりたい。財田、山本の事情や、詫間、仁尾の事情は違う。それはそれぞれの良いところを伸ばしていくべき。それらを総合してこれが三豊なんだと言えるようになればいいなと思う。
	原委員長	それば大事なポイントですね。「ONE MITOYO」って言った場合に、個々の旧町のそれぞれの個性の良さを消すことではない。
	横山委員	旧7町が同じ色になるのではなくて、それぞれの持ち味を生かして、例えば虹って7色ですけども、それぞれ色は違うけれども集まった時にとっても綺麗な虹になる。そういうイメージ。

	原委員長	7つ、ちょうどレインボーですね。レインボー三豊。
	横山委員	色が同じになることを求めているのではないと思います。
	原委員長	それぞれの個性を生かしながら一丸となる。というニュアンスがうまく伝えられたらいいですね。
	中村委員	行政の仕方も7町平等になんて無理なんですね。だから、そこに選択と集中というのが出てきているのだと思います。それぞれ特徴を生かしたところに集中していこうということだと思います。
	原委員長	市長も言われている話は、個性を生かしながら一丸となるという。旧来のやり方であれば、各町に同じような施設をつくるようなやり方はもちろんダメで。どこかには置くけれども、個性を生かす形で全体としてあればよいといった考え方で。
	中村委員	その辺をもっと強調してもらいたい。
	原委員長	そこがわかりやすくフレーズとして出ていればよいですね。
	橋本委員	<p>私の場合、移住してきたので、各町が一緒になれないというのが理解できない。車で30分あれば海から山までいける便利なまちなんですよね。ずっとここに住んでいる方と、私たちのような移住者の感覚は違って、でも本当はこれからの世代の子っていうのは、三豊って海も山もあって、商業施設もあるしっていう感覚に変わってくるはずなんです。おじいちゃんおばあちゃんの時代は、「おらが村」っていうのがあったと思いますが、これからはそれをできるだけ低くしつつ、三豊って感覚で見ながら、でも各地区のカラーは大事にして欲しい。絶対交われませんっていうのでなくて、海も山もあって良いまちですっというくらいのまちづくりをしていけば良いのではないかと思います。</p> <p>仁尾や詫間のまつりも凄いですよね。財田もあるし、私はもっと違うまちの魅力を知りたいと思っていますところですよ。</p>

		<p>それぞれの町の良さをうまいこと、同じように発信していけるようになったら、一つのまちとして力がつくのではないかと思います。</p>
	則久委員	<p>「ONE」についての感覚も、それぞれで違うと思って、橋本委員おっしゃられたように、三豊市には仁尾もある財田もある、それぞれの良いところがあって三豊というふうに思っているの、ひとつにはなれないって思っているばかりではないと思います。そこをうまい具合にゾーニングされているのがすごくいいなと思いますが、その所をうまく繋げていけば「ONE」の捉え方もいろいろ考えられるのではないのでしょうか。</p>
	中村委員	<p>ひとつになれないというのが御幣を招いているかもしれませんが、決して交われないという意味ではないです。いろいろ特徴を生かして、それがバランスよく、不協和音でも良いですから形が出来てくればよいかと思います。無理やり旧町の文化に合わせてしまわなければいけないとかそういう事ではない。</p>
	橋本委員	<p>財田では、山本とは違うんだというお話を聞くことがあるので、それはあるんだなど。</p>
	原委員長	<p>橋本委員ご出身の、関西だと京都と大阪と神戸は絶対交わらないですよ。TVでも京都女と大阪女ってやってましたが。</p>
	橋本委員	<p>そうですね。そういうものだと思います。</p>
	原委員長	<p>そこをうまく JR が三都物語をPRしましたよね。あれはうまくいきましたよね。それぞれの味がある3つの都市があるよっていう東京へアピールしたので。あの時には奈良が怒ったって噂もありましたが。ああいうような違いは残しながら、統一的なものとしてやって行くというようなものがうまく表現できればいいと思いますが。</p>
	橋本委員	<p>「ONE」という意味合いの説明と共に、基本計画のほうで盛り上げていくよ、どんどんやっていくよという意味合いの文章</p>

		<p>を入れてもいいのかも知れないですね。</p> <p>則久委員 7つのまちのうちはこちらが一番っていうのを出して行って、それらが「ONE MITOYO」なんだよという流れを作れば良いと思います。</p> <p>橋本委員 委員長おっしゃったように、インバウンドで人を呼ぶためにはいろんな魅力があるってアピールして。私が移住してきたときに、「財田のどこがいいの？」って財田の方に聞かれましたが、「えっみんな分からないの？」って感じになったんですが。結局、地域の人間がそれを再認識しないと、絶対、人って呼び込めないと思います。そういうのが大事な時期にきていると思うので、この計画や構想の中で、市民のみなさんに再認識していただいて、自分の地元ってこんなに良いところがあるよっていうのを知る、もう一回見直して頂くきっかけになれば、もっと元気になるのではないかと思います。</p> <p>則久委員 少子化で、どんどん学校も閉鎖になってきている中で、例えば大浜の小学校のあの素晴らしい環境の中で、子ども達が育ったっていう経緯とかを、それを、全部無にしてしまうのではなくて、何かに繋げていけるようなまちづくりを。今あるものを大事にした思いでつながっていければと思います。</p> <p>中村委員 6ページの社会の動向なんですけど、10年前に作ったものとだと、大きく変わっていると思います。三豊市にも外国人観光客が多く来るようになったり。こないだ、高野山に行ってきたんですが、外国人ばかりなんですよ。高野山の宿坊に泊まりましたが、13組のうち、日本人4組でした。あとは欧米系の外国人ばかり。そんなふうに変ってきているので、その辺のことも一つ入ってもいいんじゃないかと思います。三豊市の将来の姿としてそういうふう呼び込めるような、そんなことがあっても良いのかなと思ったりしています。</p> <p>原委員長 インバウンド、海外からの外国人観光客の流れというのは、10年前とは大分確かに違っていますよね。逆に橋本委員の言われた、自分たちの魅力を再認識することが大事というのも、</p>
--	--	---

		<p>インバウンドの時代になって、よりみなさん意識し始めた、再認識というのが進んで来ているような感じもするので、元々あったのだけれども、それを価値と認識していなかったものを認識して地域づくりに役立てるといような、そういうキーワードはあってもいいのかなと思います。</p>
	中村委員	<p>今月 15 日に、民泊新法も発令になりますが、そういう宿泊施設というものが三豊市には乏しいので、将来的にそういう問題をどうするのかとかいうのもあろうかなと思います。</p>
	則久委員	<p>よく廃校を使って宿泊やスポーツランドとか施設の維持とかしていますよね。大浜小とかも本当に環境の良いところで、道の駅とかあれば人も集まりますよね。</p>
	横山委員	<p>前回も、少しお話ししましたが、宿泊施設自体は結構あるんです。民泊は増えているんですよ。保健所に届け出していることが確か 40 件くらいあるって聞いています。ただ、その情報が出ているところがなくて、皆さん個人個人でやっているの、Airbnb とかに出しているだけで。実は三豊にこんなにゲストハウスあるんですよっていうのをまとめて出しているところがないっていうのが一番問題。</p>
	中村委員	<p>インターネットでは無双地図さんくらいしか出てこない。</p>
	横山委員	<p>Airbnb で「三豊」って検索すると結構出てきますよ。そういうのがセットになっていると観光に結び付くのかなと。</p>
	則久委員	<p>父母ヶ浜にも 2,000 人来たって聞きましたが、何も収益になっているものが無いって、勿体ないことをしていますよね。</p>
	中村委員	<p>父母ヶ浜も多いときには一日 3,000 人を超えるのですよ。</p>
	原委員長	<p>インバウンドの時代に、従来ある地域というか、元々あったはずの価値を再認識する自然を含めてね。Airbnb も含めてシェアリングエコノミーっていう言い方もありますけれども、新しい協力体制で、いろいろなものを出していく、生活を豊かに</p>

		<p>する、観光客にも対応するっていうのもあるし。</p> <p>新しい流れで三豊を良くしていくためには、ちょうど良いんだと。それを実験的にやっていくうえで、三豊ほどうまく合致するところはないぞくらいのところで、それを積極的にいれて三豊を良くしましょうという話をしていると、そういう総合計画を、もし外の人を読んだ場合に、ここは有望なんじゃないかと思ってくれるのではないかなという気がします。</p> <p>今、いくつかの挙げられているポイント・要素をもう少しここに盛り込めたら良いかもしれませんね。社会の動向として。それを踏まえたうえで、これから三豊がやっていくことは非常に良いのだと。もともと三豊が持っているポテンシャルを最大限生かすことにもなるし、時代の趨勢へもうまく取り組んでやっていくことになっているのだと。そういうイメージを発信できるといいように思います。父母ヶ浜の現象なんかも、先駆けになっている象徴だなという気がします。</p> <p>宿だけではなくて、グランピングとかも始まってますし。余談ですが、奄美からお客様が来ましたが、Airbnbで三豊の宿を調べましたって教えてくれたところが、英会話教室で、そんなところまで宿泊やっているんだと思いました。</p> <p>泊まってもらおうとお金を落としてもらえるので、どんどん潤う方向で考えて市が協力すると。この前のタラ号も来ましたが、海をきれいにするっていうことでも、以前に徳島まで行って海をきれいにする海岸清掃の奉仕活動に参加しましたが、そんなことしなくても三豊で綺麗にするところがあるのではないかと、もう少し見直しをすることで、もっと活性化するのではないかなと思います。</p> <p>先ほど橋本さんが言われた、地域の魅力を地域の人を知っているというので思い出しましたが、地域の人自分達のまちを大事にしているっていうのが、すごく移住者の人を呼ぶうえでもポイント高いのだろうなという気がします。魅力を知って。</p> <p>そこは大事ですよ。今の話は、第2章の社会の動向をかなり加筆する話になりますけれども、もう少し読んでいて、魅力</p>
	横山委員	
	則久委員	
	横山委員	
	原委員長	

		<p>ある、最近のいろいろな流れを踏まえた三豊の取り組みだというのがわかるような方向での工夫を、ちょっと大きな加筆になるかもしれませんが、工夫出来る余地があるのではないかと思います。</p> <p>具体的な内容、取り組みをすぐに変えろというのではないけれども、こういう意義があるんだという見せ方だと思います。</p> <p>総合計画というのはこういう意味があるというのを、この社会の動向のところを確かに工夫する余地はあるのではないかと思います。</p> <p>「ONE」のところで、横山委員言われたように、7色の虹という表現ですが、本当に各町の一つ一つの色があると思うのです。それをうまく町の特徴を持ったものを生かして、絵であったり写真であったりしたらわかりやすいのではないかと感じています。一つひとつの町の良さを、全体の三豊のナンバーワンと。</p> <p>「ONE MITOYO」の本当の意味のコンセプトを追加で説明できるといいですね。</p> <p>「ONE MITOYO」の話で、キャッチコピーで、「心つながる豊かさ実感都市」、ここの部分を一言で分かるようにしたら、伝わるのではないかなと。「やっちゃえ三豊」とか。僕の感覚でいうと、誰もが納得するものを書こうとするとこんな感じになると思うのですが、だけど、予算もないし、人も減る、だからみんなやってくれと。やってる人間を応援する都市「やっちゃえ三豊」で。そしたら「ONE MITOYO」ってそれぞれの地域でチャレンジする人間が増えることによって、多様な面白い人が増えたら、それこそチャレンジする人間がもっと入ってくると思う。</p> <p>だから、「やっちゃえ三豊」。</p> <p>良いんじゃないですか。</p> <p>正直、これで書いても、やらなかったら意味ないです。だから、やる、パフォーマンスでなくて、僕たちはやるぞっていう</p>
	田井委員	
	原委員長	
	今川委員	
	中村委員	
	今川委員	

		<p>のが真に見えた方が市民側も「がんばろう」って思う人が一人でも増えるのでないかなと。</p>
	中村委員	<p>私も賛成で、この内容がですね、行政の中でみられるような書類みたいで、市民向けかなって感じがしています。</p>
	橋本委員	<p>硬い。</p>
	中村委員	<p>一言でいうと、硬いです。もう少し砕けている部分も必要だし、さっき言ったみたい、市民がわかりやすくなるような。優等生の回答票みたいな書類では面白くない。</p>
	橋本委員	<p>パッと見て、読むのやめようかなと。</p>
	原委員長	<p>表紙をめくって読みたくなるような。</p>
	橋本委員	<p>表紙をめくらず、そのままリサイクルや廃品回収に行く可能性もあるので、今川委員、中村委員おっしゃられたように、市民の方が、「えっ、こんなの作ったの」って意表を突かれるような内容であったり、作り方というのは必要かなと。</p>
	原委員長	<p>心にグサッとくるような、ピンとくるような。</p>
	橋本委員	<p>「このままでいいのか三豊」みたいな。</p>
	今川委員	<p>図とかにして、行政のうえに市民が乗っかっているような、これでは死に向かいますみたいな。そうしたら、図ですっと入ってくる。あ、こんな状況なんだというのがわかる。パッと見て興味がわく方がいいと思う。</p>
	橋本委員	<p>社会の動向とかも、「激化している」「急がれている」とか「なりません」とか、文末がネガティブなので、この後にポジティブな文章でやって行こうみたいな、繋がりやすいイメージを持てるような文章だとか、図なのか、イラストなのか。</p>
	中村委員	<p>この1, 2, 3, 4の表示の文字も、誰でもが書きそうな文</p>

		書じゃないですか、今の課題・動向って、面白くない。
	今川委員	オリジナリティってそうだと思いますが、グレーゾーンを突っ込むじゃないですか。振り切るってそういう事だと思います。どこの行政も同じ書き方になってしまうと思うので、僕はそういう方が三豊って面白いって思えるかなと思う。怒られるかもしれないけど。
	橋本委員	でも、このメンバーを選出されたんだから。そこはもう一緒に。
	原委員長	どうせ放っておいてダメになるのなら、やった方がいいですよ。
	今川委員	何町とか気にせず、やりたい人間がどんどんやればいいなと僕は思う。
	原委員長	「振り切った総合計画」。それによって全国から注目される。なに、この総合計画、こんなの見たことないっていうような。
	今川委員	A4 1枚で終わらせるような。見てわかる。
	橋本委員	本当に、難しい文章っていうのは、行政的には必要なのかもしれないけれど、市民が「えっ、何これ。読んでみたいな」っていうのが数ページでもいいから、中身に目を通してくださるような、事っていうのは必要なと。
	中村委員	中学生も関心持つくらいの内容だったら良いけど、これじゃ絶対関心持たない。
	原委員長	この内容を you tube にアップできるくらいの、短い内容で。先ほどイラストにするっていう意見も出ましたが、動画にして、それこそ中学生くらいの人が見て「なるほどね」って思うようなもの。この総合計画のエッセンスはこういうことなんだというのが動画にできるくらいのものでした方がいいかも知れませんね。スマホで見て。

	橋本委員	「詳しくは基本計画を」みたいな、次に期待を持たせるような内容で。
	中村委員	移住を考えている人が、こんな市だったら行ってみたいと思わせるような内容が欲しいですね。
	橋本委員	後ろ(事務局)から、困ったわ、どうしようって声が聞こえてきそうですが。
	原委員長	振り切れ三豊みたいな。いいですねそういうの。
	横山委員	たぶん、こういうのを作らないといけないと思うのですが、例えば、最近本でも超訳版みたいなものがあるように、市民向け超訳版みたいな形で、このまじめなものも作っていきながら、別でアピール用というか。
	原委員長	そうですね、白書なんかも、解説版みたいなのがありますよね。
	横山委員	そっちでは、振り切れといて。
	原委員長	行政向けにはこれで、市民向けには振り切れ版をつくる。
	横山委員	二枚舌といわれるかもしれないけれど、でも意図を変えない範囲で。
	平井委員	<p>僕もそう思います。今川委員の言った「やっちゃえ三豊」とか。今、日本全国で大都市圏以外は人口減じゃないですか、少子高齢化で、だから何か。こういうのは、事務局作らないといけないんですね。で、やっぱり一枚ものというかパンフレットというか、そういうのでバンとこう原先生が表紙にいるとか。何か引き付ける、そこを見るとエキスがあってというのがいいと思いますね。</p> <p>優等生的な文章って、なかなか浸透しにくいですね。どこも同じ問題を抱えているじゃないですか、香川県の場合、全部</p>

		<p>どこも同じ問題を抱えている。だから思い切りが必要かなと。割と保守的な人間なんですけど。</p>
	原委員長	<p>そういうので、イメージというか、新しい市となり、チャレンジする人を受け入れますみたいな、そういう空気感がある所なんだというのを伝えるのはすごく大事ですよ。</p>
	横山委員	<p>例えば、今川さんみたいに、地元が好きでこんなことやっています。みたいな紹介とか、出せるかどうかわかりませんが。やってる人たちがいるんだ、そういうまちなんだというのを。</p>
	原委員長	<p>もし、その動画を作るときには、ここで議論した責任上、みなさん一人ずつ振り切った一言を言ってもらって。平井さんがこんなことをみたいな。</p>
	平井委員	<p>「私は反対したんですが」と。</p>
	中村委員	<p>無茶苦茶になりそうだけど、でも、魅力あるのをつくるってそういう事ですよ。</p>
	今川委員	<p>このまま行ってもネガティブなことしかないじゃないですか、人も減るし子どもも減るしみたいなの。その中で、ポジティブなことを作って行くっていうのはとても大事なのではないかと。感覚として。</p> <p>減っているけど面白くなるんじゃないみたいなのまちに思われないと、人は来ないかなと。そういう人たちが来ない。ただの観光客より、面白いことをしたい人が来た方が、圧倒的に後々のことを考えたときにすごく面白いまちになると思う。</p>
	原委員長	<p>そういう意味では、この総合計画というのを、単に作るものがゴールではなくて、作ったことでより良い地域づくりのきっかけに、刺激になることが望まれると思うので、そういう意味でいうと、そういうイラストであったり、そういう望みのあるすごい人、面白い人に来てもらえるようなアピールができるこの総合計画というものの、この設定の結果、アピールできるというのは本来の目的に、叶うと思うのですよ。</p>

	中村委員	道するべですよ。この道するべによって面白いところへ行くぞって感じを語らないと。
	今川委員	高瀬駅なんか、すぐ目の前に商店街があるじゃないですか。飲食店は少ないですけど、例えばここを三豊市は LGBT を推しますみたいにして、そういう店がいっぱいできたらすごく面白いと思う。安く出店できるとか。僕らが飲みに行くとなったら丸亀とか行かなければいけない。この辺にいろんなお店が出来たら、飲食店があったら楽しいです。
	原委員長	振り切りましょう。かなりいろいろな意見が出てきましたが。出過ぎでないかとも思われますが。 では、もう一つ、議事の基本計画（骨子案）について、事務局から説明をお願いします。
	事務局	基本計画（骨子案）について説明
	原委員長	只今事務局より説明ありました内容について、ご意見ご審議いただきましたと思いますが。この部分に関してはまだ文章が出来ていなくて、こういう形でこれから作成していくということのお披露目ですけれども。分量的にはこの部分、かなりのボリュームになりそうですが、こういう方針でまとめていくということについて、何か意見等ありますか。如何でしょうか。
	中村委員	施策1で移住定住者の支援というのがありますが、こないだも移住したいという55歳の人を案内したんですが、問題は仕事なんですよ。県のほうはジョブナビってのが、職業の相談とか受けたりしているんですが、三豊市版ハローワークじゃないですが、そういうような、農業をやるんだったらこういう所を紹介しますよとか、そういうのもできれば入れてほしいなと思いました。仕事の相談がやっぱり多いんですよ。前に来た30代はIT関係に勤めていて、その関連の仕事があるのかどうかって言われたのですが、全く私たちではわからないので。 県のほうにも行ったんですが、ハローワークに行っても何もならないんですよ、仕事探しは。まったく話にならないので。

		<p>こっちがある程度仕事を探していて、情報を持っていて教えてあげるといふ風にならないと。その項目が一つはいると心強いなと思う。住まいや生活の面には手厚く支援いただいているのですが。</p> <p>三豊市は空き家バンク関係を先進的にやられてきていると思うので、プラス今の仕事ということですが、この点は事務局如何ですか。</p> <p>本市でも、雇用というところは喫緊の課題でありまして、移住定住の政策のところには含めておりませんが、基本目標1の政策6で、別に雇用という施策を構えております。中村委員の意見のとおり、移住者に対しての雇用というところはとても大きな課題というか、問題点だと思いますので、雇用の所で移住者向けにということも含めて支援をしているということは記載させて頂けたらと思っています。</p> <p>雇用というところを個別に構えているのですが、移住定住の所でも支援のひとつとして雇用を支援しますというのがあった方がわかりやすいですか。</p> <p>ですよね。三豊市は、こないだ千葉から豊中に引っ越ししてきた人なんかも、耕作放棄地が多くて、高齢者が多くて、うちも使ってくれ、うちも使ってくれと賄いきれないくらいやっているらしいですが、農業関係だとか、果物とか、漁業とか、あとは工場とか IT 関連、いろんな情報の窓口が出来ていけば、こういうのがあって。農業なら条件はどうだとか、養鶏や養豚ならこんなとか。いろいろあると思いますが、情報が窓口で、移住者向けにそういうのがあれば、もっと移住を呼び込みやすい。今、秋吉さんって方がヒトデってやっていますけれども、紹介サイトをやっていますけれども。こちらではその程度しかない。できれば三豊市の中で、そういう仕事を探せるっていうのがあれば。</p> <p>総合計画の中で、その論点をどう扱うかってことについては、1と4に分かれるって訳ですよね。で、そういう場合に別の自治体では、とりあえず出しておいていくつかの事業を融合</p>
	原委員長	
	事務局	
	中村委員	
	原委員長	

		<p>する場合、融合的な内容を別に意識的に融合していくんだって いうことを明示化しているケースもありますけれども。三豊市 の場合、移住者支援のところでは就労に関しても、ワンストップ の窓口でやるってできるんだというのをいせればいいんです けれども、別の所を書いてしまったら、後から分かれてしまっ て結局たらい回しになるよっていうような、その辺が消費者目 線から見た場合に、統合的な一つのサービスが出来れば良いん ですが、その辺はどうかっていう。目標として分けて書いたほ うが良いか、これは一体としてやらなきゃならないって事で、 中村委員がいうように分けるのでなくて、移住のほうでもそれ を入れた方がいいのかとか、その辺はどうですか。</p> <p>雇用っていうと、会社が雇うとか、そういう事になるのかも もしれないけれど、移住者は雇われてすぐやるって言うのもあ るかもしれないが、もう一つは自分で起業するって言う事もある。 そういうような面で何ができるかっていう情報も本当は欲しい。</p> <p>それを言うと全部移住者をポイントというか、1番のほうの 担い手の確保と育成も絡んでくるし、縦割り行政でないけれど も、そこを突っ込みだすと、全部繋がってくるので、これを分 けるというよりも、これがクロスすることもありますよってい うのも含めて、何か作った方がわかりやすいかなって。全て分 かれているわけではなくて。ちなみに、財田のほうでは、移住 就農者が結構多いんですが、3年ぐらいは作物取れないので、 繁忙期には手が欲しいので、その時にアルバイトで雇いますよ っていう情報を、農業を考える会っていうところで皆さん声か けて、来て下さいみたいな感じでやっています。常時雇用 ではないけれどもアルバイト的にシーズンだけっていうのは、 何とか年間でリストが作れたらいいねって動きはあります。財 田だけでも必要性が感じられているので、三豊市で落とし込む と、何らかのものを市で作って移住者向けなり、若者でも仕事 につけていない人もいるから、三豊のハローワークみたいなも のがあるといいかなと思う。</p> <p>今、橋本委員言われたように、移住者支援という観点からす</p>
	中村委員	
	橋本委員	
	原委員長	

	事務局	<p>ると、就業機会の紹介もあれば、人によっては、家族でくる場合には、子どもの教育環境であったり、健康福祉の関係も意識するでしょうから、移住者、Iターン、Uターンの相当いろいろな課にまたがるような話にはなってきますよね。それは一つちょっと、基本目標が複数にまたがるクロスする融合的なものとして、設定したほうがいいのかもわからないですね。そうですかそこは。</p> <p>ご指摘いただきました通りに、移住者というところに観点を置きますと、生活をしていくうえで、働き口であったり、教育であったりといろいろな分野に関してサポートが必要になってくるかと思われます。現在はサンプルとして掲載しておりますけれども、就農の支援もあれば、教育の支援という所もあり、全て専門的なものになりますので、一括して窓口が受けるというのは正直難しいかと思ひます。ただ、移住者向けということで、対応している課もありますので、そこが、一旦窓口として受けて、各課に話をつなげていく流れは現在もっております。横断的であったり、クロスしていく事業展開ですが、現在も就農というところでいうと、市内に住んでいる方の就農もあるし、移住者向けの就農支援というのも展開しておりますが、事業によっては農業という視点での担い手確保であったり、支店を変えれば移住者向けの首脳支援といった両方に渡ったところを行って言うというところがございますので、一つの事業に対して、一つの目的ではなく、就農支援となっても両方に登場してくるイメージで計画を策定しようと考えています。カテゴリーはこうなっていますが、逆に事業を割るような形で、一つに事業はこっちにも、あっちにもでてくるというような書き方で検討しています。</p>
	中村委員	<p>僕は移住者定住者支援という項目の中に、そういう項目があれば、仕事の内容はダブったりするかもしれないけれど、窓口みたいなものがあればいいなという単純な意見です。</p> <p>移住者の最大の悩みは仕事と家なので。その二つがカバーできればいいかなと思ひます。</p>
	原委員長	<p>具体的に、事業が複数ページに登場することになるのであれ</p>

	事務局	<p>ば、この目標のところの移住定住の所に、移住者に就労等言うキーワードを入れても問題はないのではないですか。</p> <p>サンプルですみません。現在庁舎内で調査を行っておりますので、全てがサンプルに含まれているわけではありません。足りないものを資料として申し訳ないのですが、委員がおっしゃられた通り、仕事の面でも、移住者向けの支援があるという事であれば、エッセンスとして含めていこうと考えています。</p>
	原委員長	<p>カテゴリーキラー的などころに、新しいチャンスがあることが多いですね。アグリツーリズムなんかも、農業と観光が一緒になって、場合によっては教育も関係するような、観光商品になるかもしれないというか、そういった意味では、従来の行政の中でいうと、違った担当が受け持つといったことを合わせることで面白いものになるっていう事が、おそらくいろいろあると思うので、そういった意味では複数の個所に項目として上げていってというふうな形にしてもらえたら、いいんじゃないかなと思います。かなりそういうケースは多いと思います。</p> <p>そのあたりはむしろ三豊市の中でいうと、課を越えた仕事はやりやすいですかね。より大きな自治体になってくる、課を越えた仕事は大変になるでしょうけど、三豊市の行政上の規模を活かした融合的なものがスムーズに取り組むということはやって貰ったらなど。</p> <p>他に如何でしょうか。実際の文章というのは、次くらいに、各施策のものが出てきて検討していくということになっていくのですかね。</p>
	正田副委員長	<p>いろいろとご意見聞かせていただきましたけれども、私自身現在農業委員をやっております。先ほどから就農とかいろいろお話が出ていますけれども、三豊市は元々約 8000 ヘクタールの農地があった、田畑合わせて。市の3分の1を占める面積があったのですが、現在は、耕作放棄地、転用とかあり、約 5000 ヘクタール弱に減りました、これは残念ながら農業が衰退している。他方で、毎年数十名の新規就農者がおいでます。我々農業委員としては、新しい新規就農者を育成しなければいけないという役目もある程度受け持っております。その数十名の農業</p>

		<p>者は、橋本委員が言ったように、何人かおいでるわけなんです、最終的その人たちが、経営として安定するところまでいかなければ、うまくいかないのではないかと、で、農地そのものは、良いか悪いかわかりませんが、しっかりと出てきている。相対で農地を貸し借りする場合がありますが、今、香川県には、農地中間管理機構というのがあります、農地の仲人をしており、そこを介すれば新しい人でも十分に貸し借りができます。農業の状況は良くはないというのですが、ふるいにかけて、だんだん農業人口が減っています。約5,000人ほど昔は三豊市にも農家があったんですが、現在専業農家としては、約2割ぐらいで、あとは第1種、第2種兼業農家ということで、兼業農家が増えています。そういう方たちがだんだんリタイアして、他の方たちは他の形態に変える、そうするとしっかり農地が出てきます。将来的には農地は残念ながらというか、新しい人ができる可能性は十分にあります。逆に我々は、そのような農地をどういうふうに処理していくのかという課題が実はあります。このような農業の背景があります。それと、三豊市でこれはという農産物とか、いくつかは確かにあるのですが、サイズがやはり小さいものですから。例えば高瀬のお茶ですとか、仁尾のマーガレットですとか、個々にあるんですけど、サイズの小さいので、それがもう少し特徴が打ち出されるような農産物が出来たら良いというのが我々の願望です。残念ながら見通しが全体だということではございません。今から何とかそのようなものを作っていこうというのが我々農業委員の役目かなと。先ほどから、新規就農者とかのお話が出てきましたので、何かお話しておくべきだと思ひまして、背景だけですけれど、全てはお話できていませんけれども、このような状況であるということをご理解ください。</p> <p>農業をやりたい場合に、農作用の機械ですね、新規就農の人たちにとっては、非常に高い。また、それを借りることがなかなかできないと。そういうのを取りまとめて、貸す仕組みができていけば、もっと入りやすいのではないかなと思います。</p> <p>就農支援、新規就農者の方に助成があります。それを活用すれば、十分ではないですが、何千万ものっていう事はないです</p>
	中村委員	
	正田副会長	

		<p>が、そういう制度はあります。返さなくても良いお金と、返さなければならぬお金と両方ありまして、返さなければならぬお金は、枠は大きいのですが、返さなくても良いお金は大した額ではありません。ですので、ないわけではありません。</p>
	中村委員	<p>農機具をいきなり買うのに、借金をしてというのはなかなか目途も立つかどうか分からないのに。</p>
	原委員長	<p>使われていない機械をリースするとか。</p>
	中村委員	<p>貸す人たちはたいてい家に持っている。そういうものを貸してくれないのかなと思っています。</p>
	正田副委員長	<p>地域に新規就農者ということで、最初はブロッコリーとかそういうものをやろうかと言っていたのですが、途中からイチゴをやりたいと切り替えました。その場合、農協のイチゴハウスが空いてきましたので、それを安く頂いて、自分の所の近くに持ってきて、今、3年目になりますかね。何とかイチゴらしいものが出来つつあるなということで、安心しております。やり方としてはいろいろあると思います。三豊市全体の話がありましたけれども、その人、その地域にあったやり方で行けると思います。農業の場合、市の方はご存知だと思いますけれども、農業委員会でもいろいろやっていますし、農林水産課でいただいたの支援というのが、一覧表で出ていますので、それを自分に合ったような内容を検討していただけたらと思います。</p>
	則久委員	<p>行政と、農業委員会とか密接な関係があって、例えば移住者が土地が欲しいとか言った時には、紹介してくれるとか。人が少ないから、こっち少し欲しいとか言った情報は既に流れているのですか。</p>
	正田副委員長	<p>空いている農地、借りれる農地は、農地ナビということで出てきます。できないことはないのですが、私個人的には、顔が見える人にお貸ししたほうが良いと思っています。紙一枚で、右から左というのは、あんまり個人的には好きではない。そのような話をするときには両者を会わせて顔が見えるような貸</p>

	<p>原委員長</p> <p>黒田委員</p>	<p>し方、借り方をやっています。</p> <p>黒田委員、何かございますか。</p> <p>農業をやっているわけでもなく、団体に属しているわけでもないので、普通に生活している一般人の意見ですが、会に出席して、こういう資料を見て、今まで自分自身も三豊市住みやすいなどは感じていましたが、資料を見ていて、一層良いなあと思いました。毎回会に出席するまでは、こんなにこういう事をしているとか、考えたことがなかったのですが、これまでのまちづくりの歩みとか、三豊の歩みを見ていて、本当に色々な事をしているんだなって、子どもがもう幼稚園とか行っていないのであまり関心なかったのですが、幼稚園保育料無償化とか、凄いなって思いました。生活しやすいというか、他の地域の方に話すときに、とても住みやすいまちだって言います。結構好きなので、良いまちだっていうのは伝えるようにしています。地域に住んでいる人が、他に発信できる、好きなんだって伝えるようになればいいなと思います。</p> <p>知らないこともすごくたくさんあって、もう少しアピールというか、CM を打ってまちをアピールしても良いんじゃないかと思います。</p> <p>病院に行くとなった時に、大きな病院で検査してもらおうとなれば、三豊総合とか、善通寺とか、労災とか言いますが、それに関しても、今まで三豊総合までのバスしか出ていなかったのか、広報紙で見ましたが、善通寺までバスが出るようになったとか見たんです。考えてくれているなというのを思ったし、出来たら丸亀まで伸びたらいいのになって。病院に通うのに、車のないお年寄りのためだけでも、その時間帯ちょっと労災にいけるようなバスが出たらいいのになって。希望的な話ですが。実際もっとアピールして、いいよっていう所がすごくたくさんあるので。すごく住みやすいとか、言える事がたくさんあるので。この冊子は硬いなどは思ったけど、読んだらすごく良いこと書いてあるので、これがもっと読みやすく、例えば、スマホで見て中学生や高校生が読んで意見をちゃんと返せばポイントがたまるとか。そういうのがあれば学生でも見たり、主婦もポイントと好きなので、見たりするのでないのかなって。き</p>
--	-------------------------	--

	<p>原委員長</p> <p>橋本委員</p> <p>原委員長</p> <p>田井委員</p>	<p>ちんと読む、きちんと知ってことが、このまちの人には大事なのではないかと思います。</p> <p>バスの件は、別途検討していただいて。三豊の市民がもっと自慢できることがあるのに、まだ知られていない事がたくさんあるので、知っていただいて、みんなに自慢してもらったら良いということですよね。そのためにもポイント制度など、工夫してせっかく三豊にある良いことを、市民の方々に知ってもらうことを色々としたらよいのではというご提案だと思いますが。良いご指摘だと思います。</p> <p>市民もまちの良さを再認識しなければならないということでしたか、市の職員の方々も、三豊のどこが好きっていうのか、どこが魅力っていうのを、どんなふうに考えているのかっていうのも知りたい。市の職員の方にアンケート取りたい。その結果で、職員と市民でギャップが出てくるのか知りたい。</p> <p>それは面白いですね。三豊をどう自慢するのかっていう自慢大会をして、それで違いが出てくるもの面白いですね。その中で競い合って、そういう手もあるかっていうふうにあぶり出されると、また、気づきにもつながるし、行政サイドと、一般市民との違いも分かかって参考になるかもしれないですね。色々な角度から、行政の意識も知りつつ、市民の意見も知るという事をやっていったらよさそうですね。</p> <p>たくさん良いところはある。私も一応保育園運営しているが、保護者の方とお話するが、香川県全体を見渡しても、「子育てするなら、三豊が一番」っていうのを先代の市長が掲げた通り、かなりこれは実行されていると思う。先般、観音寺から三野へ移住してきて、他から見たときに、三豊市の子育ての環境というのが、幼稚園無償化というのもいいことだけれども、子育て支援に関する考え方というのは、私は自慢できると思う。他にないようなことがたくさんあって、育てやすいまちだということを保護者からも聞きます。こういうところの声を上げていきたいなど。「子育てするなら三豊が一番」っていうのが出来ているのではないかと実感しています。</p>
--	---	---

	原委員長	<p>予定していた時間を、越えてしまっていますが、この議事につきましては、全員に発言頂きましたので、このあたりで閉めさせていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
	事務局	<p>で、その他という事でなにかございますか。追加資料の2と3について事務局のほうどうですか。</p>
	事務局	<p>追加資料2と3について説明。</p>
	原委員長	<p>空き家バンク、旧町別移住データというところで非常に興味深い。このデータは、市の空き家バンクを利用した独自データという事ですか。</p>
	事務局	<p>そうです。</p>
	原委員長	<p>これについては、時間もありませんので、何かあればまた次回の時にでも振り返ってみたいと思います。貴重な資料になると思います。他に。</p>
	事務局	<p>審議会日程について説明</p>
	原委員長	<p>では、今後の会議日程についてご予約お願いいたします。それでは、本日はたくさんの意見を頂きましてありがとうございます。審議いただいた内容を、次回の会議に反映していただけたらと思います。では、事務局へ進行をお返しします。</p>
	事務局	<p>長時間に渡りましてご審議ありがとうございました。 本日頂いた意見に基づき、次回会議でご意見を頂戴したいと思っておりますので、委員の皆様よろしくお願いたします。では最後に、政策部長綾よりお礼を申し上げます。</p>
	政策部長	<p>(あいさつ)</p>
	事務局	<p>それでは、これにて本日の審議会を閉会いたします。 長時間のご審議、誠にありがとうございました。</p>

		閉会